



修学旅行に行ってきました。

4月18日(水)から20日(金)までの2泊3日で、横浜・東京方面に下記のような日程で修学旅行に行ってきました。出発時に小雨模様だったものの、横浜市内にて班別自主研修に入ると徐々に天候が回復し、集合時刻の15時30分頃には晴れ間も見えるようになりました。その後も天候に恵まれ、すばらしい修学旅行となりました。



ホテルの中庭にて

【第1日】横浜市内班別自主研修（下に主な研修地）・劇団四季「ノートルダムの鐘」鑑賞

○カップヌードルミュージアム ○赤レンガ倉庫 ○オービー横浜 ○マリンタワー ○日本丸 ○氷川丸
○おもしろ水族館 ○中華街 ○ズーラシア ○みなとみらい博物館 ○野毛山動物園 ○日本郵船博物館
○横浜市開港記念会館 ○ランドマークタワー など

【第2日】東京都内班別自主研修（下に主な研修地）・東京ディズニーリゾート

○浅草散策(浅草寺) ○サンシャインシティ ○明治神宮 ○湯島天神 ○靖国神社 ○上野動物園
○パナソニックセンター ○すみだ水族館 ○フジテレビ ○国立西洋美術館 ○東京ラーメン国技館
○原宿 ○NHK放送博物館 ○東京タワー ○東京トリックアート迷宮館 ○日本科学未来館 ○東京駅
○アクアパーク品川 ○六本木ヒルズ ○築地 ○葛西臨海公園 ○東京スカイツリー など

【第3日】東京都内クラス別研修

31CR : 亀戸・香取神社 → お台場・フジテレビ球体展望台・ワンダーストリート → 日本科学未来館
32CR : 湯島天神 → サッポロビール千葉ビール園 → 東京タワー
33CR : 東京スカイツリー → 浅草すしや通り・「祭ばやし」 → 浅草・仲見世散策
34CR : 上野・国立博物館 → アクアパーク品川 → 月島 → もんじゃストリート
35CR : お台場・フジテレビ球体展望台・ワンダーストリート → 有明ワシントンホテル → 浅草・仲見世散策
36CR : 湯島天神 → 浅草雷門通り「香味家」 → 浅草・雷おこし製作体験 → 浅草・仲見世散策

1・2年生は遠足に行ってきました。

1・2年生は、17日（火）に遠足に行ってきました。1年生は水戸市内、2年生は会津若松市内にて班別自主研修を行いました。

【1年生の主な見学地】

- 偕楽園（好文亭・常磐神社・千波公園）
- 徳川ミュージアム
- 茨城県立歴史資料館
- 茨城県近代美術館



↑ 1年生：朝の出発式



↑ 2年生：班別研修の1コマ

【2年生の主な見学地】

- 飯盛山（さざえ堂）
- 鶴ヶ城
- 直江兼続屋敷跡
- 野口英世青春館
- 会津武家屋敷
- 御薬園
- 会津県立博物館
- 各種体験学習 → 民芸品・赤べこ絵付け
絵ろうそく・ガラス絵彫り など
- 昼食 → 各班ごとに「ソースカツ丼」「蕎麦」「会津ラーメン」など、名物料理を堪能しました。
- 買い物 → おみやげ屋さんでの買い物も楽しみだったようです。

1年生も2年生もすばらしい活動ぶりだったようです。遠足の決まりはもちろん、交通ルールや社会的なマナーを守ること、自分に与えられた役割を果たすこと、グループとして友達を思いやったり助け合ったりすることなど、平一中生として胸を張れる活動でした。

特に、1年生の水戸での活動については、お褒めの手紙をいただきましたので紹介します。お手紙をくださったのは、宇都宮大学で教鞭を執られ、偕楽園のボランティアとしてもご活躍の方です。

昨日の遠足で一年生が、私の守る偕楽園に来ていた姿や、HPでの様子を見せて頂きました。水戸で、服装、態度、言葉遣いのもとより、元気で、実にきちんとしており、班別研修をきびきびと行い移動している姿に感心させて頂きまして、思わず、手紙を差し上げた次第です。また、近隣住民から、「今時珍しい礼儀正しい子供たちだった、あの茶色のおしゃれなバッグの学校はどこだろう？」という声もたくさんありました。

わたしは、樹木医のもとで偕楽園ボランティアをさせて頂いている者です。

園内の湧水「吐玉泉」で出会った生徒さんたちには、研修目的地の歴史館までご一緒させて頂きました。私の説明に熱心に聞き入り、また、疑問に思うことを率直に訊ねたり、未来を担う若い力を嬉しく思いました。

再び偕楽園に戻ると、今度は別のグループに遭遇しました。歴史館への道案内をさせて頂きましたが、リーダーらしき男子を先頭に、整然と頑張る姿を見て、どうしても応援したくなりました。HPの写真を見ると、お昼をおいしそうに食べている姿があり、無事にスケジュールが進んでいたのかな、と安心しました。

昨日お会いした生徒さんたちの中には、大学生になったとき、私の勤務する大学で勉強される方もいるのではないかと思います。指を折り数えてみると、丁度退職の年に大学1年生になっているはずなので、ぎりぎり再会できるかもしれないと、楽しみにしております。彼らにとっては、高校入試のその先の話でしょうが、何かのご縁での再会を楽しみにしております。

生徒さんたちの無事の成長とともに、これからも、わたしの守る「偕楽園」に足を運んで頂けますことを希望しています。ご来園ありがとうございました。何かの機会に生徒さんたちを褒めてあげてください。